

歩行者の横断時における 課題等について

これまでの委員会での歩行者に関する議論

➤委員会において、歩行者に与える効果や影響について指摘事項を検討

①	指摘事項	分離島がある場合、安全に渡りやすくなるか
	検討結果	●社会実験で分離島を設置した交差点では、分離島を經由する2段階での横断となることで、1回あたりの横断距離が短くなるほか、横断にあたって注意すべき方向は1方向のみとなった。
②	指摘事項	流入・流出速度の低下により安全性が向上するか
	検討結果	●WHOの分析では、衝突時の速度が低いほど歩行者が致命傷を受ける確率が低い。 ●社会実験(軽井沢・焼津・守山)では、流出入部及び環道において速度が低下(焼津では約30km/h低下)

これまでの委員会での歩行者に関する議論

③ 指摘事項	横断歩行者を優先する自動車の割合が増加するか
検討結果	● 社会実験(軽井沢)では、横断歩道手前で停止し、横断通行する歩行者を優先する自動車の割合が7~15%増加

④ 指摘事項	信号のない十字交差点に比べ横断時の歩行者の横断距離が長くなるか
検討結果	● 十字の交差点より歩行者の横断距離が長くなる

.....

⑤ 指摘事項	視覚障害者の横断が難しくなるか
今後の検討内容	● 横断歩道の位置の把握や横断するタイミングの判断などについて検討

海外における視覚障害者への配慮の事例

	アメリカ	オーストラリア	ドイツ	イギリス	フランス
位置づけ	ガイドラインに記載あり	ガイドラインに記載あり	ガイドラインに記載あり	なし	なし
発行者	米国交通学会 (TRB) ※官学民により構成される研究団体	Austroroads ※豪州各州およびNZの交通省による研究団体	道路交通研究会 (FGSV) ※基準を作成する非営利の研究所	なし	なし

アメリカのガイドラインでの記述

発行者	米国交通学会 (TRB)
課題	<p>●ラウンドアバウトの導入により、視覚障害者は横断歩道を見つけ、横断の可否を判断するのが難しくなる可能性がある。</p> <ul style="list-style-type: none">- 歩行者動線が大きく曲線的に伸び、環道の様々な方向から走行音が聞こえるため、横断歩道の場所を見つけ、横断する方向を定め、維持するのが難しくなる。- 環道の様々な方向から走行音が聞こえるため、横断できるタイミングをみつけることが難しくなる(分離島がある場合、信号のない交差点よりは見つけやすくなる)。
対策	<p>●横断時の課題に対して対策案を提示</p> <ul style="list-style-type: none">- 歩車道界のすりつけ部や分離島内の縁石の方向を横断方向にあわせたり、視覚障害者誘導用ブロックを設置することで、横断歩道で正しい横断方向を維持しやすくなる。




オーストラリアのガイドラインでの記述

発行者	Austroads (オーストラリア各州およびニュージーランドの交通省による研究団体)
課題	●様々な方向からの走行音があるため、横断時に混乱する可能性がある。
対策	●ラウンドアバウトから離れた単路部へ分離島付き横断歩道を設置することも必要となりうる。



ドイツのガイドラインでの記述

発行者	道路交通研究会（基準を作成する非営利の研究所）
対策	<ul style="list-style-type: none">● 市街地内にあるラウンドアバウトのうち、必要な場合は横断歩道前の歩道・分離島に視覚障害者誘導用ブロックを設置する 

アメリカの事例(歩道縁石による方向案内)

- 縁石の並ぶ方向や植樹帯の切れ目で、歩行経路や横断歩道の位置、横断歩道の進行方向を明示



分離島内の歩行者通路を横断歩道の方向に折り曲げ、縁石で横断方向の変化を示す

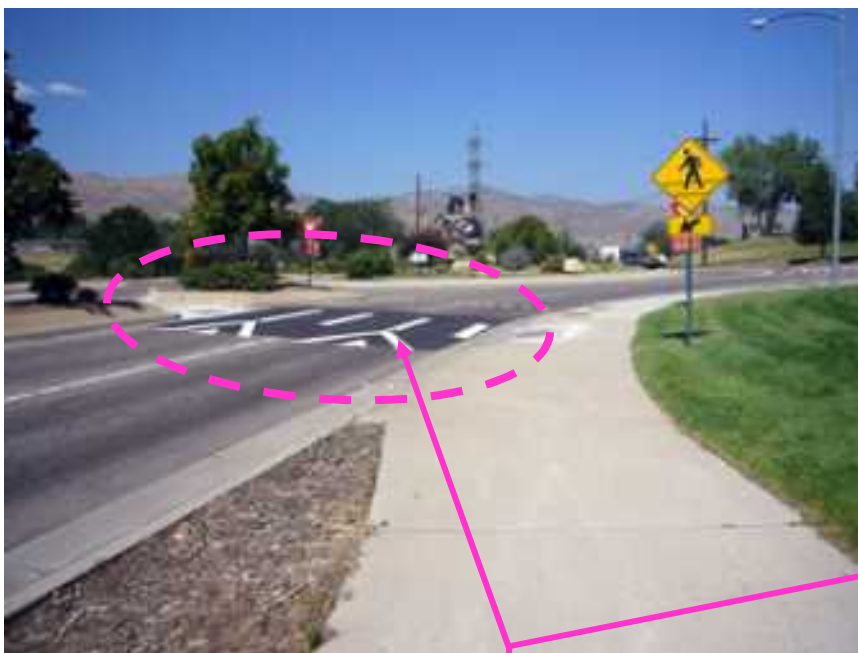
歩車道界の縁石と点字ブロックで歩車道界を明示

歩道・植樹帯間の縁石で横断方向を示す

アメリカの事例(横断歩道部のかさ上げ)

- 横断歩道部をかさ上げすることで、歩行者の横断位置を段差により明示

【アメリカ コロラド州ゴールデン市での社会実験】 ※現在は撤去済み

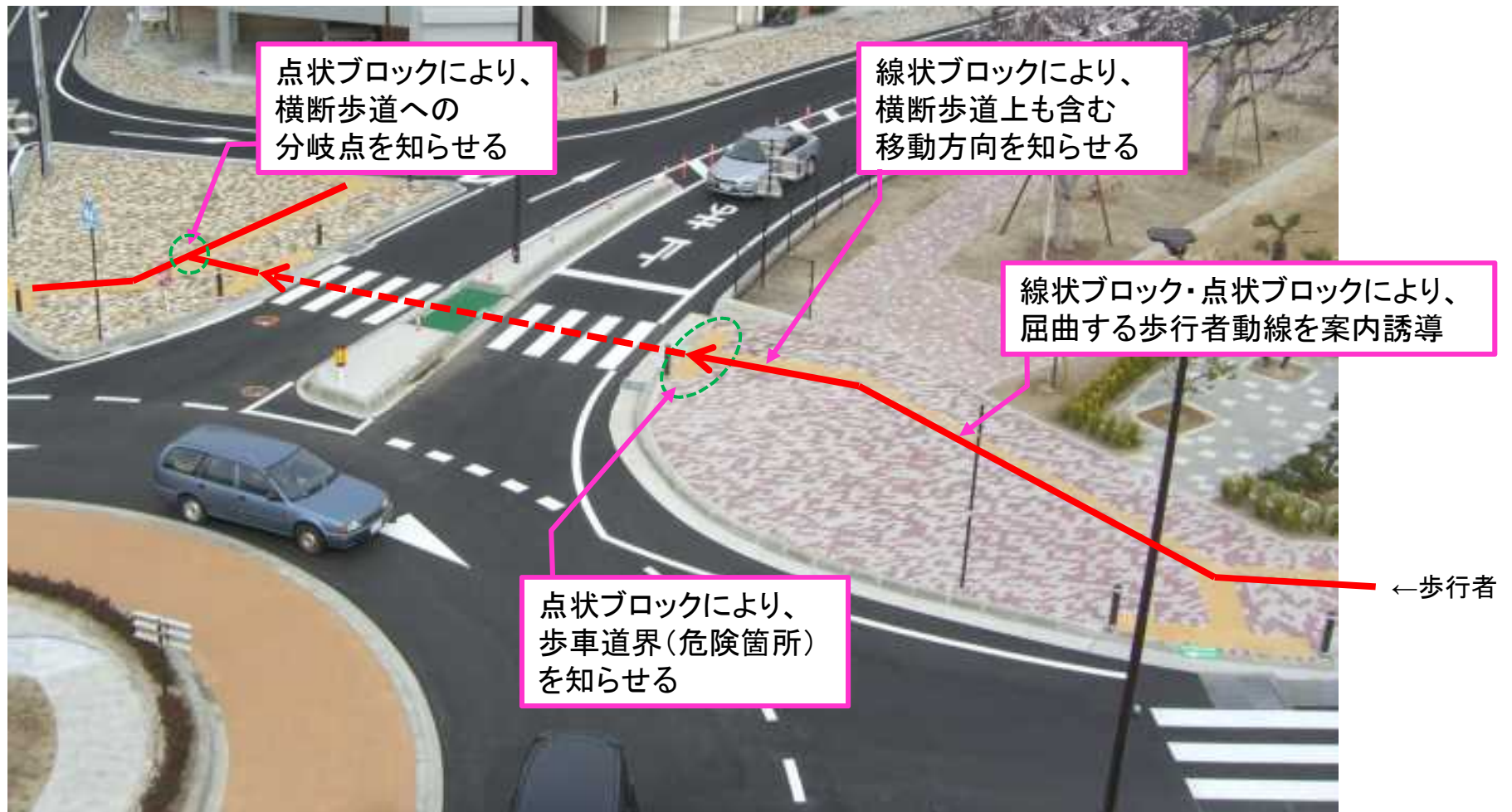


横断歩道をかさ上げし、
路面表示により目立たせる

(出典) Crossing Solutions at Roundabouts and Channelized Turn Lanes for Pedestrian with Vision Disabilities , NCHRP Report 674 , Transportation Research Board (2011)
(写真) Bastian Schroder

視覚障害者誘導用ブロックによる経路誘導(長野県飯田市の事例)

- 視覚障害者誘導用ブロックを線的に敷設し、歩行経路、分岐点、歩車道界、横断歩道の進行方向を明示



東和町交差点
(写真)飯田市提供